

報道関係者各位

2025年4月14日

【大阪・関西万博 2025】万博開幕初日、ペルー館オープニングセレモニー開催 ～ ペルー通商観光相、「万博を通じてペルーの魅力を発信し、日本およびアジアとの繋がりを強化」



クスコの「バリチャ」ダンスほか、リマやアマゾンなどのダンスが館内で披露された

大阪・関西万博 2025 ペルー館は、4月13日（日）、万博開幕に併せ開館し、朝から大勢の人がペルー館見学のために並びました。また、当日開館を祝うオープニングセレモニーが開催され、ペルー各地の伝統舞踊が披露されたほか、ペルー通商観光大臣 ウルスラ・レオン氏をはじめ、在日ペルー大使 ロベルト・セミノリオ氏、ペルー館館長ダニエル・カベロらによるテープカットが行われました。また、セレモニーには大阪商工会議所会頭 鳥居信吾氏、2025年日本国際博覧会協会副事務総長 樺 真夏氏、国際協力機構（JICA）の幹部、ならびに日本の政財界を代表する方々が出席、「シパン：砂漠の支配者たち」や「ペルーと日本」の展示コーナーを見学し、ガストロノミーの実演や、代表的なペルー料理「セビーチェ」、ナショナル・スピリッツ（蒸留酒）であるピスコを使った象徴的なカクテル「ピスコサワー」などを試食・試飲しました。また、ペルー館見学後、日本館を訪問し、日本とペルーの友好関係の更なる深化と、万博の成功を祈念する言葉を交わしました。



写真左から（敬称略）ペルー館館長 ダニエル・カベロ、2025年日本国際博覧会協会 副事務総長 樺 真夏、在日ペルー共和国特命全権大使 ロベルト・セミノリオ、ペルー通商観光大臣 デシル・レオン、ペルー館 副館長 フェルナンド・アルバレダ、在名古屋ペルー共和国総領事 ルイス・エスピノーサ

ペルー通商観光大臣 ウルスラ・レオン氏はセレモニーの中で、「大阪・関西万博は、文化・経済・外交の交流において世界で最も重要なイベントのひとつです。2,800 万人以上の来場者が見込まれており、ペルーの豊かさ、多様性、可能性を世界に示す前例のない機会です。私たちの参加は、『無限の可能性』というパビリオンのテーマに沿って、革新的で持続可能でチャンスに満ちた国としてのイメージを発信することができます」と述べました。



パビリオン内見学の様子 写真左から（敬称略）ペルー館館長 ダニエル・カペロ、外務貿易観光大臣 デシル・レオン

ペルーは日本にとってアジアで3番目、世界では7番目の貿易相手国です。マチュピチュやナスカなどの観光地はもちろん、ペルーの文化やガストロノミーへの関心が高い市場だけでなく、近年、ブドウやアボカドをはじめとする農産物の輸出が急増。今年は特に、日本の政府関係者、商工会議所、観光・文化・経済分野のオピニオンリーダーとの二国間会合が予定されており、万博を機に、両国間のさらなるパートナーシップを強化し、戦略的な観光・経済の目的地としてのペルーの価値をアジアに訴求したい考えです。

ペルー館の概要は下記のとおりです。

記

ペルー館の概要

- ・場所：大阪・関西万博 エンパワーリングゾーン P05 ペルーパビリオン
- ・開館時間：午前9時から午後9時まで
- ・ナショナルデー：8月9日（土）ナショナルデーホール

◎文化展示スケジュール：

- ・4月13日～7月12日：シパン王の宝飾展（モチェ文化）
- ・7月13日～10月13日：ナスカ文化展（地上絵と土器）

◎ガストロノミー体験：

会期中、月替わりで1日400食、昼夜3種類ずつ無料提供される絶品ペルー料理（写真はその中の一部）
その他にも午前、午後にはペルー産コーヒーやチョコレートなどが無料提供される

以上

<本件に関するお問い合わせ>

ペルー館広報事務局 担当：柳、坂口、佐藤

TEL：045-900-6854 / E-mail：press@peru-expo-2025-osaka.info